

2023 年 3 月 13 日
株式会社京阪百貨店

京阪百貨店 モール京橋店 NEW OPEN 情報

○京阪百貨店 モール京橋店に「靴下屋」が OPEN。モール京橋店限定販売商品も登場します。

株式会社京阪百貨店（本社：大阪府守口市 取締役社長：辻 良介）では、「京阪百貨店 モール京橋店」をリニューアルし、2023 年 3 月 16 日（木）新たに「靴下屋」がオープンします。

京阪百貨店 モール京橋店は、株式会社京阪流通システムズ（本社：大阪市中心区、社長：松下 靖）が運営する商業施設「京阪モール」の核テナントとして、施設コンセプトである「Value Rambling -価値ある寄り道-」を実現するショップを充実してまいります。また、京阪百貨店 モール京橋店 靴下屋オープンを記念して、「残糸」を使ったサステナブルなくつ下を限定販売いたします。

靴下屋
produced by Tabio



京阪百貨店 モール京橋店 限定販売アイテム「SDGs SOCKS（仮）」

SDGs SOCKS（仮）とは

製品を生産する際には、傷や汚れ等のロスが出ることとを考慮し、原料となる糸をやや多めに準備しています。このためすべての糸を使い切れず、どうしても少量の糸が残ってしまっていました。これが残糸です。またこの残糸は、最終的に産業廃棄物として廃棄されてきました。

残糸にはありとあらゆる種類の糸があり、素材・色・量すべてがまちまちです。残った糸を組み合わせで靴

下を製品化するには色組み、デザイン性や残糸の量（どんな糸がどれだけ残っているか）など様々な課題があります。そういった課題をクリアして製品化されたのが、アップサイクルされたサステナブルなアイテム（SDGs SOCKS（仮））です。

原料は残糸ですが、製造工程はもちろん、品質面でも「靴下屋」の通常商品と何ら変わりがありません。また、



デザインは本製品のために起こしオリジナルデザインで、価格もちょうとリーズナブル、それでいて SDGs。履くだけでよりよい未来につながるくつ下です。

京阪グループが推進する BIOSTYLE PROJECT の一環として、京阪百貨店では SDGs SOCKS（仮）をリニューアルに合わせ限定販売し、選んで使うだけでできる、SDGs 達成への取り組みをご提案いたします。

概要

オープン日：2023年3月16日（木）午前11時

場 所：京阪百貨店 モール京橋店 1 階

「靴下屋」について

靴下屋
produced by **Tabio**

「靴下屋」はタビオ株式会社が運営する、無意識のうちに「今日も履きたい」と思うそんな履き心地のいい靴下を提案するショップです。手間暇をかけ、丹念に編みだした MADE IN JAPAN の靴下をお客様へお届けします。

取り扱いアイテム

レディース靴下全般

<Tabio SEARCH>で Tabio グループ全商品からお求めの商品をお探しします。

お店にない商品でも靴下屋・Tabio・TabioMEN など Tabio グループで取り扱う全商品、レディース、メンズ、キッズ、大きめサイズなどご要望に合わせて商品をお探しし、店頭に取り寄せ、お買い求めいただけます。

SDGs を実現するライフスタイルを提案する

京阪グループの「BIOSTYLE PROJECT」について

健康的で美しく、クオリティの高い生活を実現しながら、SDGs の達成にも貢献していく。京阪グループでは、そんな循環型社会に寄与するライフスタイルを「BIOSTYLE(ビオスタイル)」として展開し、お客さまにご提案しています。

規制や我慢だけから生まれる活動ではなく、“人にも地球にもいいものごとを、毎日の生活の中に、楽しく、無理なく、取り入れていくことができる明るい循環型社会の実現”に貢献するため、京阪グループにできる様々な活動を推進していきます。

▶ 「BIOSTYLE PROJECT」について詳しくはこちら <https://www.keihan-holdings.co.jp/business/biostyle/>

**BIOSTYLE
PROJECT**

■施設概要「京阪百貨店 モール京橋店」

所 在 地：大阪市都島区東野田2丁目1番38号 京阪モール地階、1 階、ホテル館 1 階

ア ク セ ス：京阪電車・JR・Osaka Metro「京橋」駅下車すぐ

T E L：06-6355-1313（代表）

営業面積：6,024㎡

売場構成：地階 食料品、1 階・ホテル館 1 階 ファッション・食料品

U R L：<https://www.keihan-dept.co.jp/mall-kyobashi/>